

# 事務事業評価シート2 (一般事業)

## 1 基本情報

		事業番号	0310/450505/07/03	事業の種類	4	
年度	20	事務事業名	救急啓発事業	作成日		
予算事業名	救急・救助業務経費		担当課名	消防本部 消防課		
政策名	すこやかに暮らせる、心かようまちづくり		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
施策名	消防・防災体制		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民				
	誰(何)を対象として	市民				
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民等が医療機関等の利用をしやすくなったり、市民が応急手当の知識・技術を習得する。				

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		救急普及啓発				
活動実績	項目	単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度計画
	救急講習	回	65	62	62	163
	救急普及啓発運動	回	1	1	1	1

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		18年度決算	19年度決算	前年比	20年度決算	前年比	21年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.083	0.085	102.4	0.083	97.6	0.084	101.2	
	主幹以下職員	0.700	0.172	24.6	0.620	360.5	0.340	54.8	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	6,732,234	2,236,157	33.2	5,951,598	266.2	3,602,304	60.5	
	事業費	8,977	0	-	46,904	-	67,000	142.8	
	合計	6,741,211	2,236,157	33.2	5,998,502	268.3	3,669,304	61.2	
財源内訳	国庫支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	県支出金	0	0	-	0	-	0	-	
	市債	0	0	-	0	-	0	-	
	その他	0	0	-	0	-	0	-	
	一般財源	6,741,211	2,236,157	33.2	5,998,502	268.3	3,669,304	61.2	
	合計	6,741,211	2,236,157	33.2	5,998,502	268.3	3,669,304	61.2	

## 4 評価指標

[有効性]

指標名1		救急講習事業							
指標説明(式)		救急講習開催数							
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
回	目標	50	60	120.0	60	100.0	163	271.7	
	実績	65	62	95.4	62	100.0			
指標名2		救急講習修了者数							
指標説明(式)		救急講習修了証交付者数							
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
人	目標	300	300	100.0	300	100.0	300	100.0	
	実績	451	371	82.3	294	79.2			

[効率性]

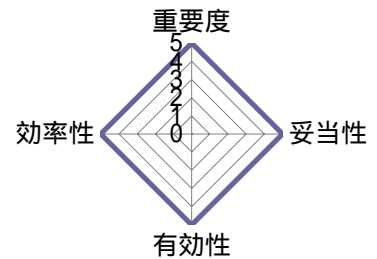
指標名1		救急講習一回当たりのコスト							
指標説明(式)		『人件費』+『消耗品』+『訓練資器材』÷講習回数							
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
円	実績	10,371	7,971	76.9	13,179	165.3	8,726	66.2	
指標名2		救急講習受講者数一人当たりのコスト							
指標説明(式)		『人件費』+『消耗品』+『訓練資器材』÷受講者数							
指標単位	区分	18年度	19年度	前年比	20年度	前年比	21年度(計画)	前年比	備考
円	実績	464	665	143.3	554	83.3	378	68.2	

5 事業の評価(20年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	救命には、逸早い処置が必要であり、救急講習受講者が増加する事で、救命率向上に反映する。	5	5
	市民ニーズ	救急講習を受講する事で、応急手当の普及啓発を図る。		
有効性	期待する目標	年間300人以上が救命講習を修了した。	5	5
	市民サービス	誰もがイザという時、使える救急法の指導を行った。		
効率性	手段の最適性	講習時間・講習種目等、講習方法に幅を持たせることで、誰もが受講しやすいよう心掛けた。	5	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	救急講習を広めたいが、職員の派遣に無理があり、講習回数に制限がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた21年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	早い時期に救急講習会の計画を立て、業務に支障がない体制をとる。
H20	H21予算反映額	0

(2) ヒアリング時指摘事項

--

検討の有無	-
総合指標	27.5